



ESPRESSO
MACHINE

INSTRUCTION MANUAL

Y5 *MILK*

IPERESPRESSO



■ ご使用の前に

この取扱説明書を注意してお読みください。

プラグをコンセントにお繋ぎください。

カップスタンド、ドリフトトレイ、ミルク抽出パーツ、カプセルコンテナ、タンク、マシン本体は頻繁に清掃し、清潔に保ってください。
清掃、メンテナンスは本体の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。

■ 重要事項

本体を水に浸けたり、取外し可能な部品を食器洗浄機に入れたり絶対にしないでください。

ウォータータンクの水は毎日取り換えてください。

ウォータータンクが空の状態では本体を絶対に使用しないでください。

2ヵ月に1度は、コーヒーマシン専用のスケール除去剤を使って、スケール除去を行う事をお勧めします。

(方法についてはスケール除去の章をご参照ください。)

ミルクタンクご使用の際は、使用後には必ず洗浄してください。

目 次

■ 安全上のご注意	2
■ 各部のなまえ	6
■ はじめてのご使用	7
■ コーヒーの抽出	9
■ おいしいコーヒーを入れるには	10
■ コーヒー抽出量の設定	11
■ ミルクメニューの準備	12
■ カプチーノの抽出	13
■ ラテマキアートの抽出	14
■ フォームドミルクの抽出	15
■ フォームドミルク量の設定	16
■ お湯の抽出	17
■ お湯の抽出量の設定	17
■ クリーニングとメンテナンス	18
■ スケール除去	21
■ 保証の制限	23
■ 仕様／推奨	24
■ 表示とマシンの状態	25
■ 故障かな？『トラブルシューティング』	27

安全上のご注意 各注意事項を、必ずお守りください。

- ★ ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ★ ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
- ★ 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。



危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

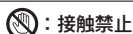
この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- ★ 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



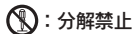
禁止



接触禁止



水ぬれ禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



指示を守る



電源プラグを抜く



危険



自分で絶対に分解・修理・改造は行わない
感電・火災の原因になったり、異常作動してケガをすることがあります。



警告

電源/コンセントについて



電源は交流100V (50/60Hz) で「15A/125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

15A 125V



取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取り付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差し込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
コンセントの差し込み口が2つある場合は、片方の差し込み口を使用せず、空けたままにしてください。



たこ足配線は絶対に使わない
コンセントや電源プラグ/電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

電源プラグ/電源コードについて



電源プラグ/電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
使用中に、電源プラグ/電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。



電源プラグ/電源コードを破損するようなことはしない
電源プラグ/電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。



動作中に電源プラグを抜き差ししない
感電・火災の原因になります。
電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。



電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。

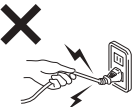


変形・破損している電源プラグ/電源コードは絶対に使わない
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店またはキーコーポレーションお客様センターまでお問い合わせください。

警告

使用中／使用后について	
❌ お子様だけでは使わない。幼児の手の届くところで使わない ヤケド・感電・ケガの原因になります。 ❗ コーヒー抽出口や給湯ノズルから出てくるお湯に注意する 高温のため、ヤケドの原因になります。	❗ 使用中は給水タンク内の水量をチェックする 極端に水が少ない状態が続くと異常発熱し、発火する恐れがあります。
使用中	
❗ 異常が生じた場合は、使用を中止する 万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー®お客様センターまでご連絡ください。	
お手入れについて	
❗ 本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う ヤケド・感電・ケガの原因になります。	

注意

電源について	
❗ ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する 使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。	
電源プラグ／電源コードについて	
❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く 電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。	❌ 使用中は、電源コードを本体に触れさせない 熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。
✕ 	

注意

設置場所について	
❌ 本体は不安定なところや熱に弱い場所、屋外には置かない 本体や置いた物・場所が変形・変質したり火災の原因になります。	
使用中／使用后について	
❗ 本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する 感電・火災の原因になります。 🔌 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く ❌ 本体や操作部に水やジュースをこぼさない 本体や操作部（コントロールパネル）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、使用を中止します。その後、お求めの販売店またはキーコーヒー®お客様センターまでご連絡ください。	❌ 使用中および使用后しばらくはコーヒー抽出口部分に触らない ヤケドの原因になります。 ❌ 他の用途で使用しない 本製品は、コーヒーの抽出、給湯／加熱専用です。故障の原因になります。 🔌 使用しないときは、電源を切り、必ずプラグをコンセントから抜く 故障の原因になります。 ❌ 給水タンクの最大水量（MAX 表示）を超えて水を入れない 故障の原因になります。 ❌ 他製品の部品や付属品などを組み合わせて使用しない 故障や事故の原因になります。
お手入れについて	
❗ 使用後は、必ずお手入れする 故障の原因になります。 ❌ 絶対に、水に浸したり、水洗いをしない 故障の原因になります。 ❌ 本体と電源コード／プラグに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしない 感電やショート、故障の原因になります。 ❗ 洗剤は、必ず台所食器用洗剤を使用する 研磨剤入り洗剤やクレンザー、漂白剤、スプレー洗剤などは使用しないでください。本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。	❌ ガラス磨き、シンナー、アルコール、ワイヤール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどは使用しない 本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。

■ 本体の使用

取扱説明書をよくお読みください。

本体はエスプレッソコーヒーと牛乳を使用した飲料専用の機械です。水の噴流や不適当な使用方法による火傷を防ぐため注意してご使用ください。

本体は一般家庭での使用もしくは次のような環境での使用を目的としております：

- ・ オフィス、カフェやレストラン（メニュー提供数が10杯/日程度）
- ・ ホテル等宿泊施設の部屋

本体使用時のみ、電源をお入れください。使用後は電源スイッチを“0”に動かして電源を落とし、コンセントからプラグを抜いてください。

使用していない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

熱くなっている表面には触れないでください。本体から出てきた水分もしくはコーヒーで火傷する恐れがあります。

お子様が本体で遊ばないように注意してください。

本体やコードはお子様の手の届かないところに置いてください。

室内でのみ使用し、本体が水にぬれないようにしてください。屋外では使用しないでください。

火災、電気ショック、ケガから守るため、コード・プラグ・本体を水やその他液体に浸さないでください。

電気、ガス、バーナーの付近や、熱したオーブンのそばには置かないでください。

製造元より推奨されていない付属品の使用は、火災、電気ショック、ケガの原因になることがあります。

電源プラグを抜く前に電源スイッチがオフ“0”になっている事を確認してください。

プラグを抜く際、電源コードを引っ張らないでください。濡れた手では絶対に触らないでください。

電源コードを引っ張ってマシンを動かしたり運んだりしないでください。

お子様が引っ張ってしまう恐れや予期せぬケガを防ぐため、電源コードをテーブルや調理台の上から垂らさないでください。

■ 本体の設置

取扱説明書をよくお読みください。

本体を 温度が0℃以下、40℃以上の場所には設置しないでください。（氷点下では内部の水分が凍り、本体にダメージを与える可能性があります）

取扱説明書の仕様の項目に表示されているものに相当する電圧を使用しているかご確認ください。適切な電源を使用してください。

プラグとコンセントが合わない場合は、使用しないでください。

本体を水道の蛇口、シンクから離して置いてください。

本体を箱から取り出したら、使用する前に本体に不足やダメージ等がないか確認してください。

梱包材、本体をお子様の手の届く範囲に置かないでください。

■ 本体の清掃

清掃前に本体のプラグを外してください。

本体の熱が冷めるのを待ってから清掃をしてください。

ウォータータンクを上にし少し引っ張り外してください。

本体と付属品を濡れた布巾などで清掃してから、乾いた研磨性のない布で拭いてください。

洗剤は使用しないでください。

本体に水をかけたり、水に浸したりしないでください。

■ 正しく動作しないとき

電源コードやプラグがダメージを受けている場合や、本体が正常に動作していない表示を確認した場合、もしくはダメージがあるような場合は使用しないでください。

ダメージや正しく動作しない場合、本体の電源を落としてください。決してむやみに操作しないでください。

修理が必要な場合、お買い上げの販売店またはキーコーヒー(株)お客様センターにご相談ください。

■ 不適切な使用

製造元及び販売者は、本取扱説明書の仕様項目に表示されている電圧を使用していない事から起こる事故等の責任は一切負いません。

製造元及び販売者は、不適正な使用により起きたダメージについての責任は一切負いません。

■ 電源コードの取扱い

a) 長い電源コードによって絡まったり、ひっかかる危険性があるため、十分に注意してください。

b) 延長コードも使用可能ですが、使用する際には十分に注意してください。

c) 延長コードを使用する場合：

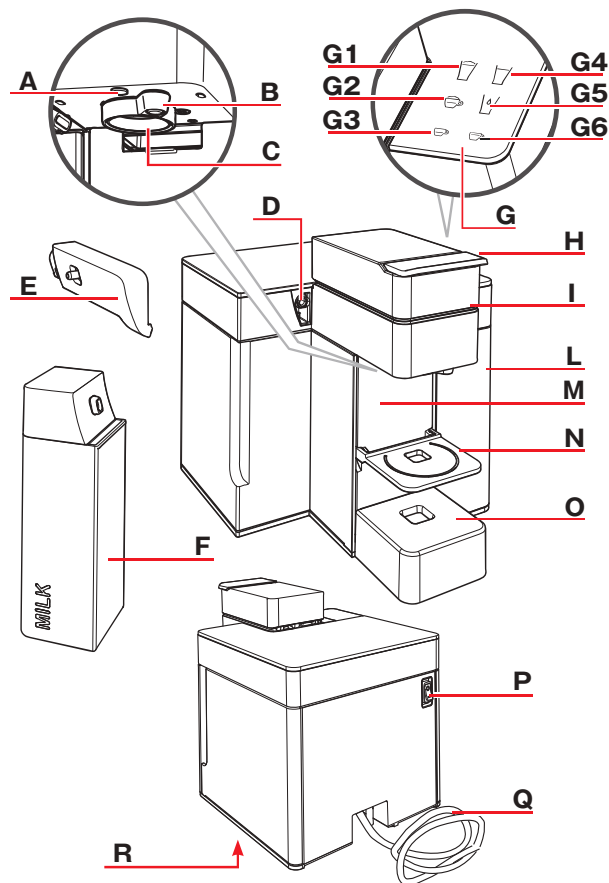
1) 本体の仕様に適合していること

2) 長い電源コードはテーブルや調理台の上から垂らさないようにまとめ、お様が引っ張ってしまうような場所には置かないでください。

重要：この取扱説明書は大切に保管してください。

■ 各部のなまえ

- A. イルミネーションライト
- B. 熱湯抽出口
- C. コーヒー抽出口
- D. ミルク抽出パーツ接続口
- E. ミルク抽出パーツ
- F. ミルクタンク
- G. コントロールパネル
 - G 1. ラテマキアート
 - G 2. カプチーノ
 - G 3. エスプレッソ
 - G 4. フォームドミルク
 - G 5. お湯
 - G 6. ルンゴエスプレッソ
- H. 開閉レバー
- I. カプセルホルダー
- L. ウォータータンク
- M. ドリフトレイ、カプセルコンテナ
- N. エスプレッソカップサポート台
- O. カップスタンド
- P. 電源スイッチ
- Q. 電源コード
- R. 銘盤（底面）



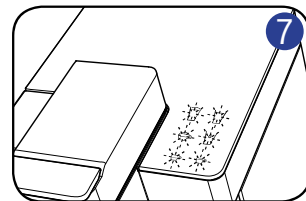
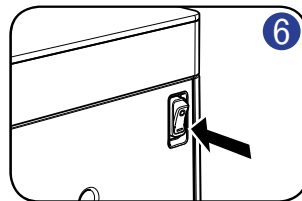
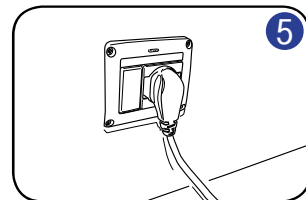
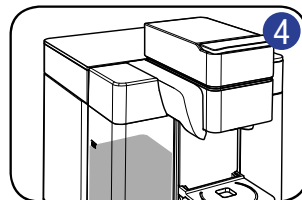
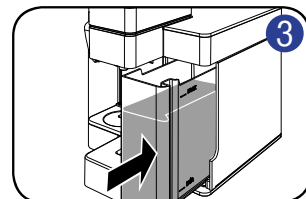
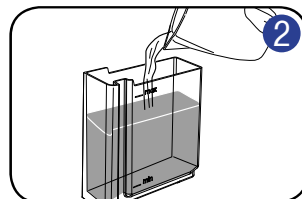
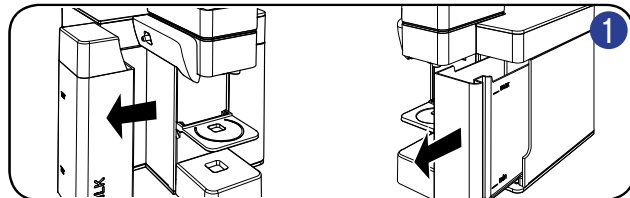
■ はじめてのご使用

使用前の準備と本体のウォームアップ

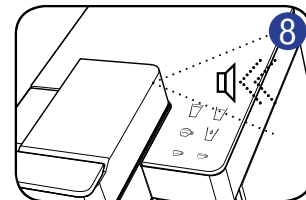
1. ミルクタンクとウォータータンクを外し、洗ってから使用してください。①
2. ウォータータンクに新鮮な水をMAXの線まで満たしてください。②
3. しっかりとウォータータンクを本体に差し込んでください。③
4. ミルクタンクのフタにしっかりとミルク吸入チューブが差し込まれているか確認してください。④
5. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。⑤
6. 電源スイッチを“I”に入れ本体に電源を入れてください。⑥
7. すべてのボタンが点滅し、ウォームアップが開始します。⑦

ミルクタンク

ウォータータンク



8. 本体の準備が完了すると、すべてのタッチボタンが点灯し、ブザーが鳴ります。⑧



本体は10分使用しないと自動的に節電モードに入ります。
節電モード中はエスプレッソボタンがゆっくりと点滅します。
再び使用する場合は点滅しているエスプレッソボタンに触れてください。

<空気抜きが必要な場合>

初めて使用する場合、または長期間使用していなかった場合、大きな音がしてコーヒー又はお湯が抽出されないことがあります。それはマシン内部の経路に空気が入っている可能性がありますので、以下の手順を行ってください。

- 1 ウォータータンクとミルクタンクに水を入れ、電源を入れる。抽出口の下にカップを置く。
- 2 ウォームアップが完了したら、フォームドミルクボタンを押し、スチームが自動で止まるまで出し切る。
- 3 再度ウォームアップが完了したのを確認し、エスプレッソボタンを押し。
- 4 エスプレッソボタンを押した時にお湯が抽出されるまで2、3を繰り返す。

10回以上繰り返してもお湯が抽出されない場合は、キーコーヒー(株)お客様センターへご連絡ください。

⚠ 警告：

コーヒー抽出前に、しっかりとカプセルホルダーが閉まっているか確認をしてください。
抽出中には絶対にフタを開けないでください。

注意：

最初に本体をご使用される際、または数日間使用しなかった際には、カプセルを入れずにウォータータンク半分程度の水を適切なサイズの容器にお湯ボタンでお湯を抽出してから使用することをお勧めします。

ミルクタンクにも水を入れ、フォームドミルクボタンを押し同様に行ってください。

■ コーヒーの抽出

Y5MILKは“IPERESPRESSO” カプセル専用マシンです。

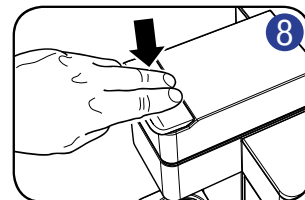
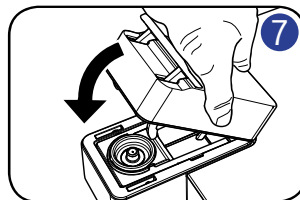
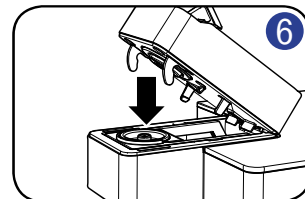
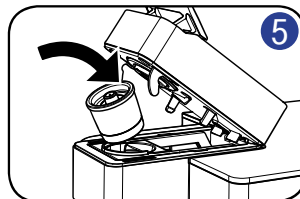
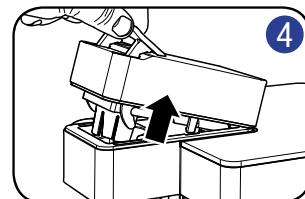
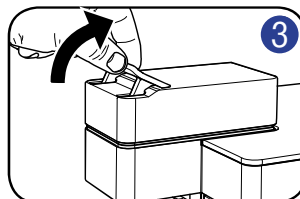
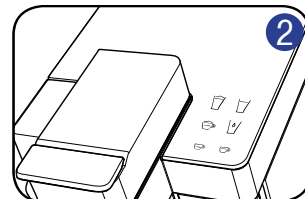
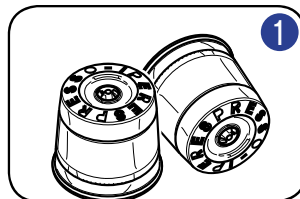
1. illy IPERESPRESSO カプセルのみ使用してください。①
2. すべてのボタンが点灯していることを確認してください。②
3. レバーを上にあげてください。③
4. レバーを持ち上げてカプセルホルダーを確認してください。④
5. カプセルを入れてください。⑤ ⑥
6. 可動部分を下げてください。⑦
7. レバーを下げ、ロックしてください。⑧

⚠ 警告：

故障の原因にもなりますので他のカプセル製品は絶対に使用しないでください。

注意：

カプセルホルダーのレバーを開けると、中のカプセルが自動的にカプセルコンテナに入ってしまうのでご注意ください。

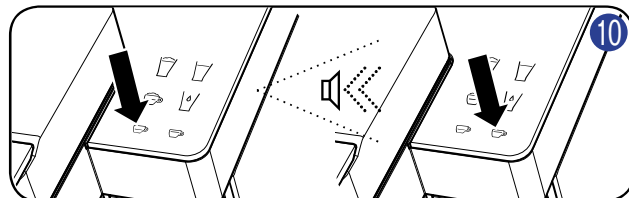


8. カップサポート台にエスプレッソカップを置いてください。もしくはサポート台を持ち上げてスペースを作り、カップスタンドにカプチーノカップを置いてください。⑨
9. エスプレッソボタン／ルンゴエスプレッソボタンを押すとブザーが鳴り、抽出が始まります。⑩
10. 自動的に抽出は止まります。⑪



■ おいしいコーヒーを入れるには

- 毎日ウォータータンク内の水を交換してください。
- 硬水を使う場合は、マシンの内部に水あか（カルキ）が付着しやすくなりますので、P21のスケール除去をより頻繁に行ってください。
- カップを温めてから抽出してください。



備考：

同じメニューボタンを押すと抽出を途中で止めることができます。

⚠ 警告：

約70秒までで抽出は自動に止まりますが、カップから溢れる可能性がありますのでご注意ください。

注意：

ルンゴエスプレッソを抽出する際は、大きめのカップをご使用ください。



■ コーヒー抽出量の設定

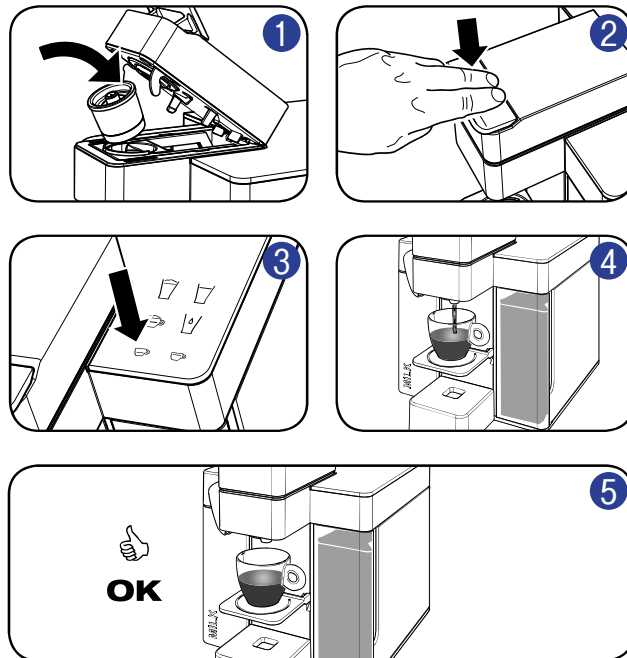
1. カプセルを挿入してください。①
2. 開閉レバーを下げ、ロックしてください。②
3. エスプレッソボタンを長押ししてください（設定のための抽出中はボタンに触れ続けます）。③
4. 適量になったらボタンを離してください。④
5. エスプレッソボタンの量が設定されました。⑤

●エスプレッソボタンもルンゴエスプレッソボタンも設定方法は同じです。

備考：

本体はillyカプセルに適した量で初期設定が行われ出荷されております。

エスプレッソ：	20-25ml	（設定量変更可能）
ルンゴエスプレッソ：	30-35ml	（設定量変更可能）
カプチーノ：	95-100ml	
ラテマキアート：	155-160ml	
フォームドミルク：	135-140ml	（設定量変更可能）
お湯：	195ml	（設定量変更可能）



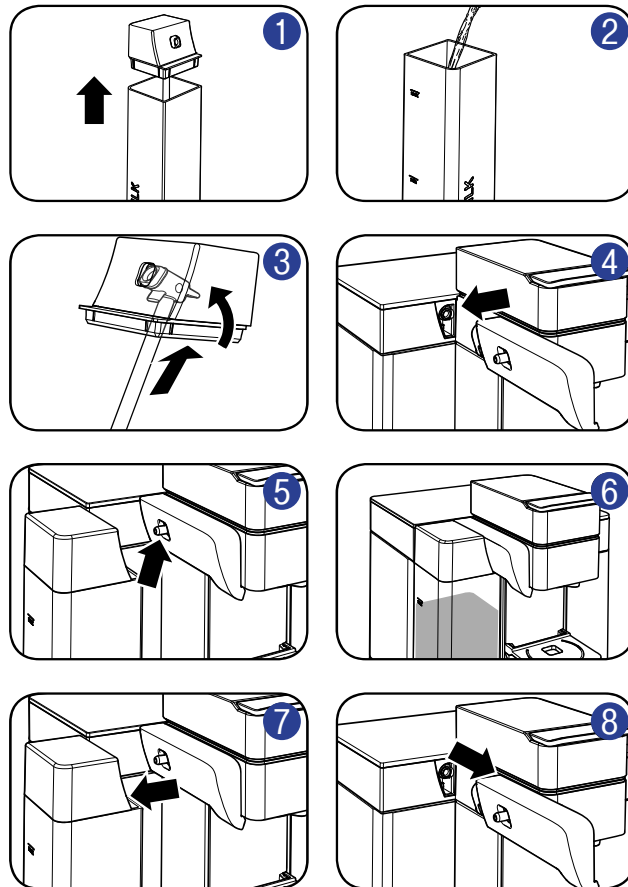
■ ミルクメニューの準備

ミルクタンクとミルク抽出パーツの使用方法

1. ミルクタンクのフタを外してください。①
2. MAXの線まで冷たい牛乳（成分無調整乳を推奨）を入れてください。②
 - マシンがオーバーヒートすることを防ぐため、またおいしく飲み物を抽出するために液体がMINの線以下にならないようにしてください。
3. ミルク吸入チューブをフタの接続口にしっかりと取り付けてください。③
4. ミルク抽出パーツを本体側の取り付け口にしっかりと取り付けてください。④

この取付がしっかりできていないとミルクの吸い込みがうまくいなくなる可能性があります。
5. ミルクタンクを取り付け、ミルクメニューの準備完了です。⑤
6. ミルクメニューの抽出後にミルクタンク内に牛乳が残ったら、フタをして冷蔵庫で保管してください。⑥
7. ミルク抽出パーツを取り外し ⑦、“クリーニングとメンテナンス”（19、20ページ）を参照にすすぎを行ってください。⑧

備考：ミルクメニューを抽出する際、1杯目はチューブ内に牛乳が入っていないため、フォームドミルクの量は少なめになります。

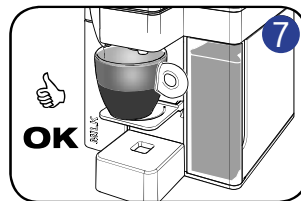
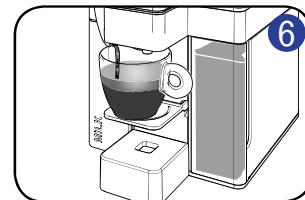
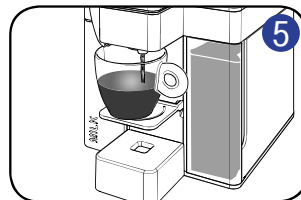
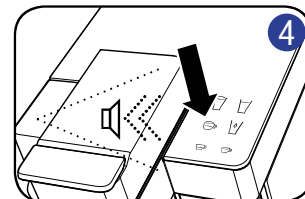
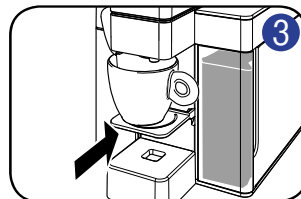
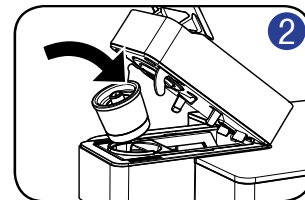
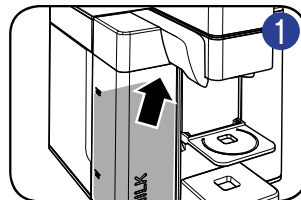


■ カプチーノの抽出

1. “ミルクメニューの準備”（12ページ）を参照に、ミルク抽出パーツとミルクタンクを取り付けます。
ミルクタンクのMAXの線まで冷たい牛乳を入れてください。①
2. カプセルを挿入してください。②
3. カップスタンドにカプチーノカップを置いてください。③
 - ミルクがこぼれない様にカップ位置を左側に調整してください。
4. すべてのボタンが点灯していることを確認し、カプチーノボタンを押すとブザーが鳴り、コーヒー抽出が開始されます。④
5. コーヒー抽出が完了して数秒後、自動的にフォームドミルクの抽出が始まります。⑤
 - カップの中にミルクが抽出できているか、カップの位置を確認してください。⑥
6. 自動的に抽出は止まります。⑦

備考：

- 途中で抽出を止めるときはカプチーノボタンをもう一度押してください。
- フォームドミルク抽出中にボタンを押してもすぐにミルクの抽出は止まりません。
- カプチーノボタンは量の設定ができません。
- お好みの量のカプチーノをつくる場合は、エスプレッソボタンとフォームドミルクボタンを使い、コーヒーとフォームドミルクをそれぞれお好みの量を抽出するようにしてください。

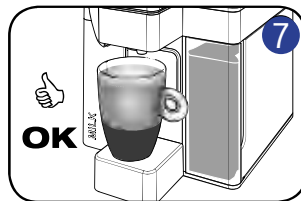
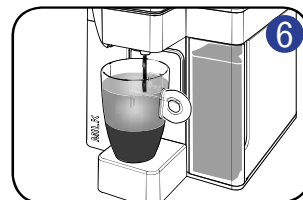
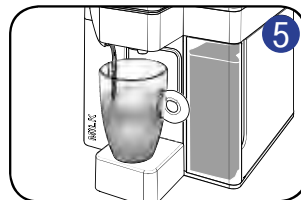
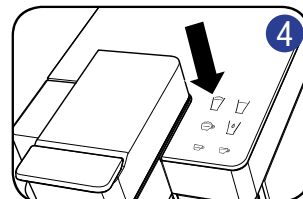
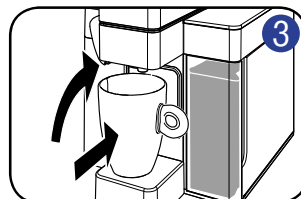
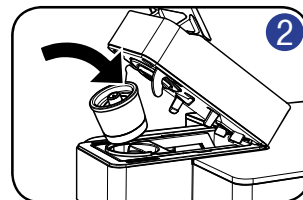
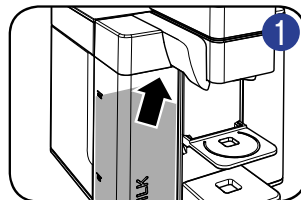


■ ラテマキアートの抽出

1. “ミルクメニューの準備”（12ページ）を参照に、ミルク抽出パーツとミルクタンクを取り付けてください。
ミルクタンクのMAXの線まで冷たい牛乳を入れてください。①
2. カプセルを挿入してください。②
3. カップサポート台を上げ、カップスタンドにマグカップを用意してください。③
 - ミルクがこぼれない様にカップ位置を左側に調整してください。
4. すべてのボタンが点灯していることを確認し、ラテマキアートボタンを押してください。④
5. ボタンを押して数秒後、フォームドミルクの抽出が始まります。⑤
 - カップの中にミルクが抽出できているかカップの位置を確認してください。
6. ミルクの抽出が完了すると自動でコーヒー抽出が始まります。⑥
7. 自動的に抽出は止まります。⑦

備考：

- 途中で抽出を止めるときはラテマキアートボタンをもう一度押してください。
- フォームドミルク抽出中にボタンを押してもすぐにミルクの抽出は止まりません。
- ラテマキアートボタンは量の設定ができません。
- お好みの量でラテマキアートをつくる場合は、エスプレッソボタンとフォームドミルクボタンを使い、コーヒーとフォームドミルクをそれぞれお好みの量を抽出するようにしてください。

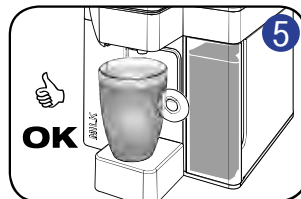
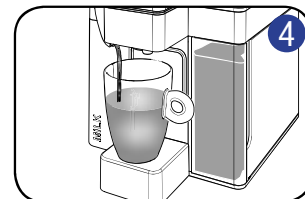
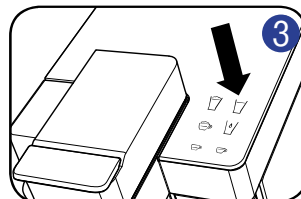
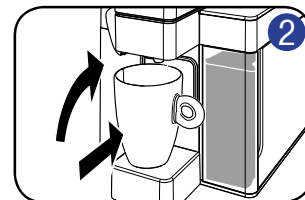
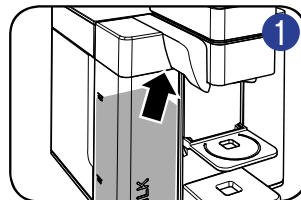


■ フォームドミルクの抽出

1. “ミルクメニューの準備”（12ページ）を参照に、ミルク抽出パーツとミルクタンクを取り付けてください。
ミルクタンクのMAXの線まで冷たい牛乳を入れてください。①
2. カップサポート台を上げ、カップスタンドにマグカップを用意してください。②
 - ミルクがこぼれない様にカップ位置を左側に調整してください。
3. すべてのボタンが点灯していることを確認し、フォームドミルクボタンを押してください（コーヒーなしメニュー）。③
4. 数秒後、フォームドミルクの抽出が始まります。④
 - カップの中にミルクが抽出できているかカップの位置を確認してください。
5. 自動的に抽出は止まります。⑤

備考：

- 途中で抽出を止めるときはフォームドミルクボタンをもう一度押してください。
- フォームドミルク抽出中にボタンを押してもすぐにミルクの抽出は止まりません。
- フォームドミルクの初期設定は135-140mlです。

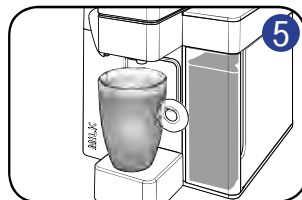
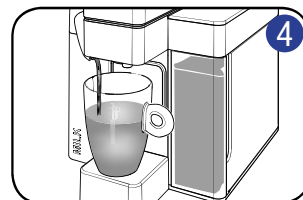
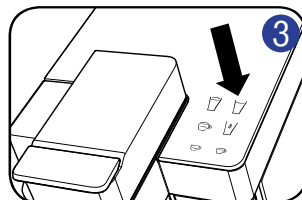
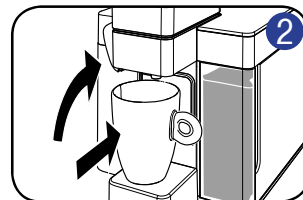
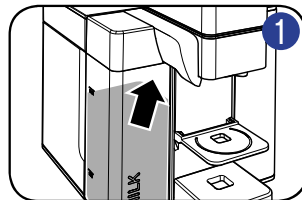


■ フォームドミルク量の設定

1. “ミルクメニューの準備”（12ページ）を参照に、ミルク抽出パーツとミルクタンクを取り付けてください。①
ミルクタンクのMAXの線まで冷たい牛乳を入れてください。②
2. カップサポート台を上げ、カップスタンドにマグカップを用意してください。③
 - ミルクがこぼれない様にカップ位置を左側に調整してください。
3. フォームドミルクボタンを長押ししてください（設定のための抽出中はボタンに触れ続けます）。
4. 抽出量が適量になったらボタンを離してください。④
5. フォームドミルクボタンの量が設定されました。⑤

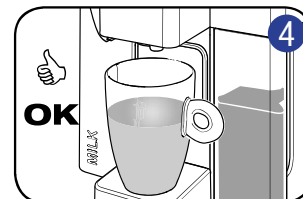
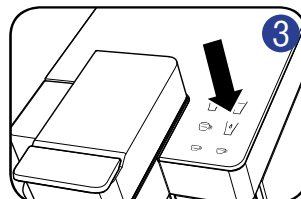
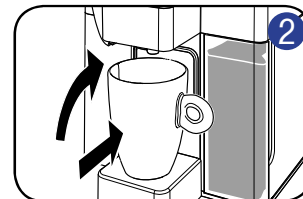
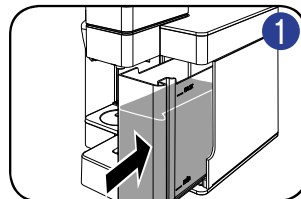
備考：

- フォームドミルクはボタンを離してもすぐにミルクの抽出は止まりません。
- ミルク量の調整の際は、ボタンを離した後も数秒間抽出が継続されますので、その分を考慮し、量の調整を行ってください。



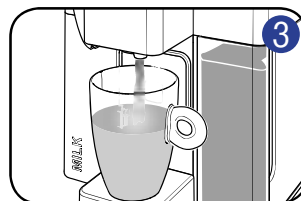
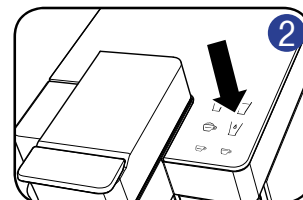
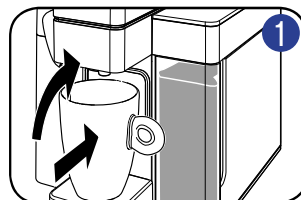
■ お湯の抽出

1. ウォータータンク内に水が十分入っているか確認してください。
①
2. カップサポート台を上げ、カップスタンドにマグカップを用意してください。②
3. すべてのボタンが点灯していることを確認し、お湯のボタンを押してください。③
4. 設定量に達すると自動的に抽出は止まります。④



■ お湯の抽出量の設定

1. カップサポート台を上げ、カップスタンドにマグカップを用意してください。①
2. すべてのボタンが点灯していることを確認し、お湯のボタンを長押ししてください（設定のための抽出中はボタンに触れ続けてください）。②
3. 抽出量が適量になったらボタンを離してください。③
4. お湯のボタンの量が設定されました。④



■ クリーニングとメンテナンス

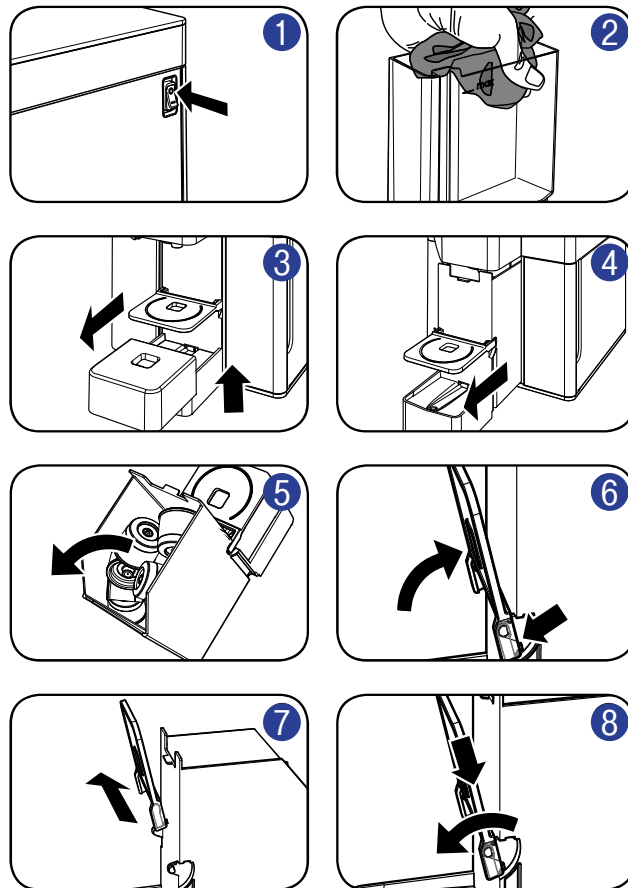
1. 電源スイッチを切り、プラグを抜いてください。①
2. ウォータータンクを取り外し、洗ってください。②
3. カップスタンドを引き出して外し、洗ってください。③
4. カプセルコンテナを外してください。④
5. 使用済みカプセルや残り液体を捨て、洗ってください。⑤
6. エスプレッソカップサポート台を上方向に上げて外し洗ってください。⑥
7. エスプレッソカップサポート台をもとに戻してください。⑧

備考：

- ウォータータンクを清潔に保ち、毎日水を入れ替えてください。
- 週に1度は本体と部品の洗浄を行ってください。
- エチルアルコール、溶剤、研磨スポンジ、強い化学製品などは使用しないでください。
- 本体や部品を電子レンジやオーブンに入れないでください。
- 本体や部品に食器洗浄機は使用できません。

ホームページでも、パーツの分解・洗浄について、動画でわかりやすく説明しています。

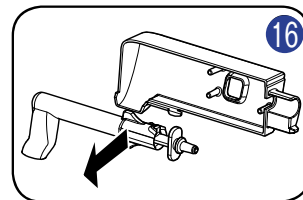
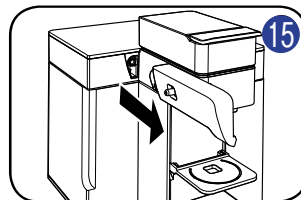
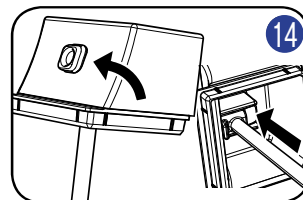
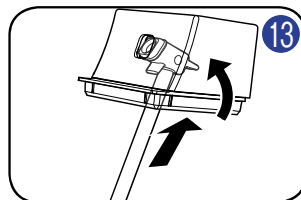
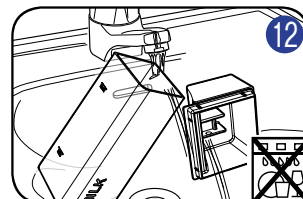
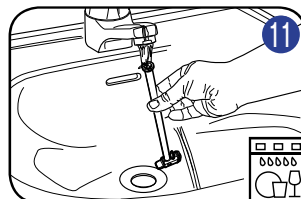
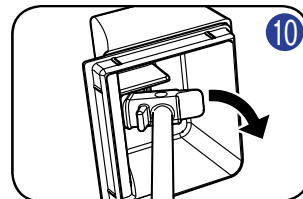
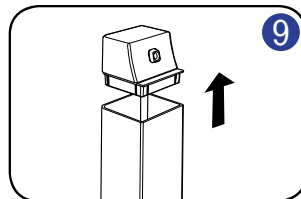
<http://www.keycoffee.co.jp/illy/product/item07.html>



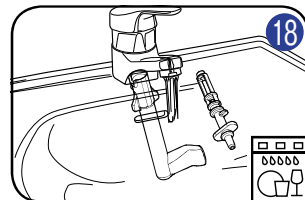
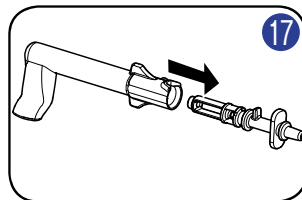
8. ミルクタンクのカップを外し、中身が残ってあれば空にしてください。⑨
9. ミルク吸入チューブを外してください。タブを押さえて回すと外れます。⑩
10. ミルク吸入チューブを洗ってください。⑪
11. ミルクタンクのカップを洗ってください。⑫
12. カップの中にミルク吸入チューブを戻してください。チューブをカップにひねり入れると戻ります。⑬ ⑭
13. ミルク抽出パーツを外してください。⑮
14. ミルク抽出パーツの部品を取り外し、分解してください。⑯

※ミルクタンクは必ず毎日洗浄してください。

チューブ類は市販のブラシを使用して洗うことをおすすめします。



15. 本体に接続する口を外してください。⑰
16. 上部のパイプを外してください。
17. 分解したすべての部品を洗ってください。⑱
18. 透明のパイプの中を水分や付着物が残らないようにやさしく指で押しだしてください。
19. 良い状態のフォームドミルクを抽出するために、上部パイプのマイクロホールが詰まっていないか確認してください。
20. すべての部品を乾かし、ミルク抽出パーツに戻してください。



21. ミルクタンクに新鮮な水を入れ、フタをしてください。
22. ミルク抽出パーツを本体の接続口にしっかりと取り付けてください。⑳

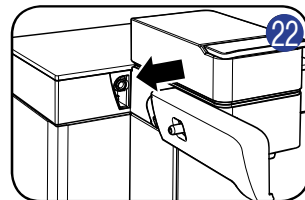
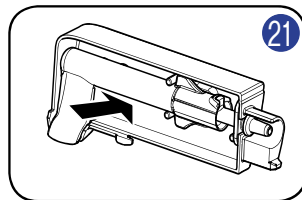
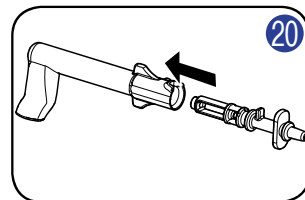
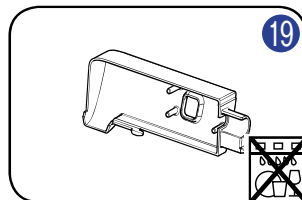
⑲ ⑳ ㉑

この取付がしっかりできていないとミルクの吸い込みがうまくいなくなる可能性があります。

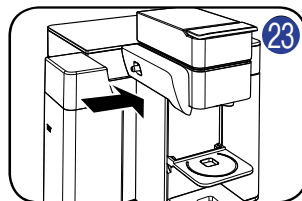
23. ミルクタンクをミルク抽出パーツにしっかりと取り付けてください。㉒

この取付がしっかりできていないとミルクの吸い込みがうまくいなくなる可能性があります。

24. ウォータータンクのMAXの線まで新鮮な水を入れ、本体に差し込んでください。
25. 主電源を入れてください。
26. カップサポート台を上げ、カップスタンドにマグカップを用意してください。



27. すべてのボタンが点灯していることを確認し、フォームドミルクのボタンを押してミルクが出てこないか確認してください。これはクリーニングサイクルを完了する上で必要な確認です。
 - 完了したら、カップ、ウォータータンク、ミルクタンクの中身を空にしてください。
 - クリーニングサイクルが完了し、本体が使用できます。



⚠ 警告：

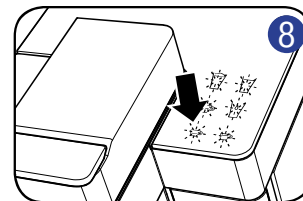
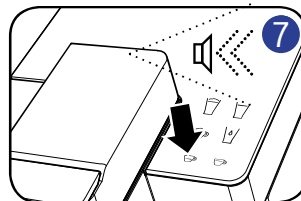
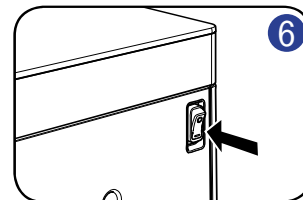
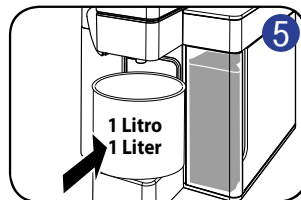
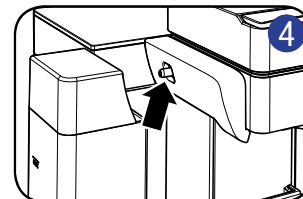
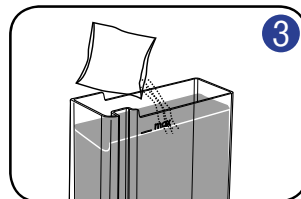
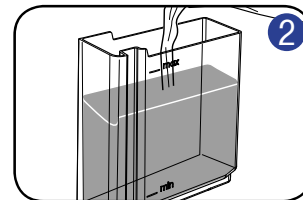
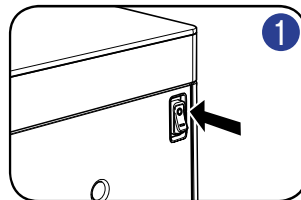
残ったミルクから発生する雑菌を除去する機能はありませんので市販の中性洗剤を使用して、必ず清潔を保ってください。

■ スケール除去

スケール除去を行う前にすべての取扱説明書を注意深くお読みください。

- 所要時間：約20分
- スケール（石灰）は本体の使用に伴いだんだんと本体内部に付着します。スケール除去をすることにより内部のスケールや付着物を取り除くことができます。
- 本体にスケールが付着してくると、エスプレッソとルンゴエスプレッソボタンが交互に点滅してお知らせします。コーヒーマシン専用のスケール除去剤を使用して2か月に1度の頻度で行うことをお勧めいたします。

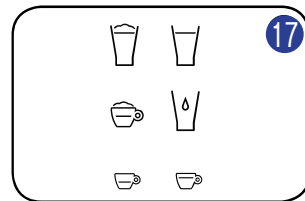
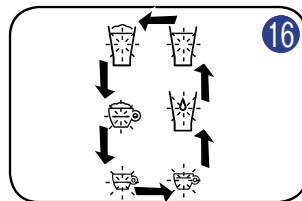
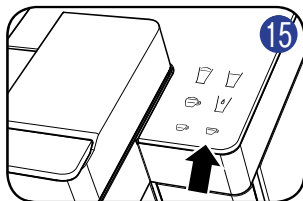
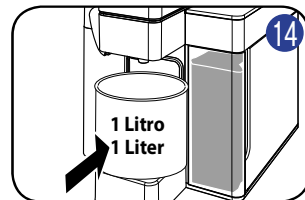
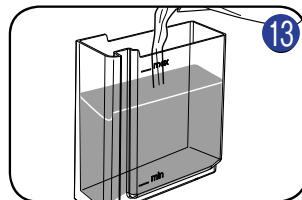
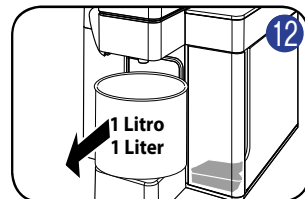
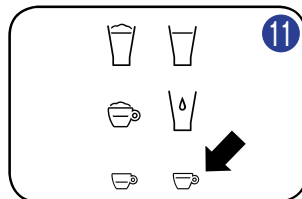
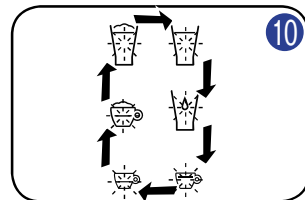
1. 電源スイッチを切ってください。①
2. ウォータータンクを取り外し、新鮮な水をMAXの線まで入れください。②
3. スケール除去剤1パックを入れて溶けるまで混ぜてください。③
4. ミルク抽出パーツとミルクタンクが接続されていることを確認してください。ミルクタンクは空にしてください。④
5. 容量1リットル以上の容器を抽出口の下に用意してください。⑤
6. 電源スイッチを入れてください。⑥
7. 15秒以内にエスプレッソボタンを7秒間程、ブザーが鳴るまで長押ししてください。⑦
8. すべてのボタンが点滅します。エスプレッソボタンを押してください。⑧



9. スケール除去のサイクルが始まります。⑨
10. 時計回りにボタンが順番に点滅します。⑩
11. ルンゴエスプレッソボタンが点灯に変わると、スケール除去の除去サイクルが完了します。
続いてすずぎのサイクルを行います。⑪
12. 容器とウォータータンクに残っている水とスケール除去溶液を空にしてください。⑫
13. ウォータータンクを洗い、MAXの線まで新鮮な水を入れてください。⑬
14. 空にした容器を再び抽出口の下に置いてください。⑭
15. ルンゴエスプレッソボタンを押しますとすずぎサイクルが始まり、一定の間隔で水を排出し続けます。⑮
16. 時計と反対周りにボタンが順番に点滅します。⑯
17. 最後にボタンがすべて点灯したらスケール除去の全ての工程が完了です。本体を使用できます。⑰

注意：

スケール除去が最後まで完了しなかった場合はマシンのスケールカウンタがリセットされません。そのような場合は一度主電源を切り、再び5.～9.を行ってください。もしも電気の不具合などにより工程が中断された場合、もしくは誤って電源が落ちてしまった場合も同様に、すべてのスケール除去工程をやり直してください。



■ 保証の制限

⚠ 警告：

本書に記載の通り定期的にスケール除去を行わないと故障の原因となり、保証対象外となる場合があります。
スケール除去剤は市販されているコーヒーマシン専用のスケール除去剤をご使用ください。
故障の原因となりますので酢、アルカリ液、塩、ぎ酸を使用しないでください。
スケール除去溶液を捨てるときは、地域の規制に従ってください。
スケール除去の工程で発生した液体を絶対に飲まないでください。

以下に起因するダメージや不具合については保証対象外となります：

- 定期的なスケール除去の不足
- 取扱説明書の仕様の項目にある表記とは異なる電圧を使っての操作
- 不適切な使用や、取扱説明書に従っていない使用
- 内部の改造
- 本体の部品を食器洗浄機で洗った場合
- 本体及び各部品を清潔に保たれていなかった場合

認定されてないサービスセンターでおこなった修理費用は、保証対象外です。
そのような費用は全てマシン所有者の負担となります。

⚠ 警告：

修理が必要となった場合、発送のために梱包材を保管しておくことをお勧めいたします。
十分に梱包せず、輸送途上で起こったダメージは保証対象外となります。
これらの警告に従わないと、マシン本体にダメージを与えることがあり、保証対象外となる場合があります。

■ 仕様

モデル名：Y5 milk

品名：コーヒーメーカー

本体：アルミニウム、強化ガラス

熱交換資材：ステンレススチール

ウォータータンク：0.9ℓ（最大容量）

ミルクタンク：0.5ℓ（最大容量）

使用済みカプセル収容量：10カプセル

ポンプ：コーヒー／19バル、ミルク／2.5バル

本体重量：5.0kg

電圧：100V 50/60Hz

電力：1,200W（節電モード付）

サイズ：215×285×245mm

製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

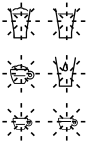
キーコーヒー(株)は、この製品の補修用性能部品を製造中止後5年間保有しています。

■ 推奨

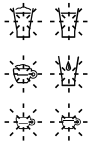
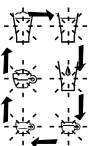
上質のコーヒーをお楽しみ頂く為、次の事をお勧めします。

- ・毎日ウォータータンクの水は取り換えてください。
- ・マシン内のスケールを軽減するため、ミネラル含有量の低い水（軟水）をお使いください。
- ・コーヒーカップはあらかじめ温めてからご使用ください。
- ・ミルクタンクは常に清潔にしてください。

■ 表示とマシンの状態

	表示	点滅
	状況	本体の電源が入り、ウォームアップの状態
	表示	点灯
	状況	本体が抽出温度まで温まった
	表示	エスプレッソボタンの点滅
	状況	エスプレッソの抽出
	表示	ルンゴエスプレッソボタンの点滅
	状況	ルンゴエスプレッソの抽出
	表示	カプチーノボタンの点滅
	状況	カプチーノの抽出

	表示	お湯ボタンの点滅
	状況	お湯の抽出
	表示	ラテマキアートボタンの点滅
	状況	ラテマキアートの抽出
	表示	フォームドミルクボタンの点滅
	状況	フォームドミルクの抽出
	表示	エスプレッソボタンのゆっくりとした点滅
	状況	本体が節電モードになっている。 10分使用しないと節電モードが機能する。点滅しているエスプレッソボタンを押すと解除できる。

	表示	エスプレッソボタンとlungoエスプレッソボタンが交互に点滅
	状況	スケール除去実施必要のお知らせ P21へ
	表示	全てのボタンが点滅
	状況	スケール除去の開始。タンク内にはスケール除去溶液が入っていないなければならない。
	表示	ボタンが時計回りに順番に点滅
	状況	スケール除去サイクルの段階。本体からスケール除去溶液が排出される。エスプレッソボタンだけが継続的に点滅する。
	表示	lungoエスプレッソボタンの点灯
	状況	スケール除去の除去サイクルの段階が完了。ウォータータンクをすすぎ、新鮮な水を入れる。

	表示	ボタンが時計と反対回りに順番に点滅
	状況	スケール除去のすすぎサイクルの段階。本体から回路をすすいだ液体が排出される。 lungoエスプレッソボタンだけが継続的に点滅する。
	表示	ちかちかと点滅
	状況	本体の不具合表示。電源スイッチを切り、30秒以上待ち、再び電源スイッチを入れる。もしも問題が解決されなければ、キーコーヒー(株)お客様センターへ連絡してください。
	表示	縦列のボタンが左右交互に点灯
	状況	本体の操作で間違いがあった表示。電源スイッチを切り、30秒以上待ち、再び電源スイッチを入れる。もしも問題が解決されなければ、キーコーヒー(株)お客様センターへ連絡してください。

■ 故障かな？『トラブルシューティング』

問 題	原 因	解決策
電源が入らない	1) 電源コードが接続されていない。	1) 本体底面のデータプレートに記載のある仕様のコンセントにプラグを差し込む。
	2) 電源スイッチが“O”の位置である。	2) 電源スイッチを“I”の位置にする。
	3) 本体が節電モードになっている。	3) エスプレッソボタンに触れて節電モードを解除し、再びエスプレッソボタンかルンゴエスプレッソボタンに触れて抽出を開始する。
コーヒーが抽出されない	1) ウォータータンクに水が入っていない。	1) ウォータータンクに水をいれてください。
	2) カプセルホルダーにカプセルが入っていない。	2) カプセルホルダーにカプセルを入れてください。
	3) カプセルは入っているが抽出されない。	3) 一旦カプセルを取り除くために開閉レバーを上げ、カプセルコンテナに落ちたカプセルを拾い出す。カプセルを入れしないでレバーを閉め、エスプレッソボタンを押してお湯を抽出する。カプセルを再び入れ、抽出する。
	4) カプセルホルダーの開閉レバーがしっかりと閉まっていない。	4) 開閉レバーを上げ正しくカプセルを入れる。可動部分をしっかりと下げ、レバーを下げてロックする。エスプレッソボタンかルンゴエスプレッソボタンに触れ抽出する。
	5) エスプレッソボタンもしくはルンゴエスプレッソボタンが反応していない。	5) エスプレッソボタンかルンゴエスプレッソボタンにしっかりと触れてください。

問 題	原 因	解決策
コーヒーが抽出されない	6) ウォータータンクが正しく差し込まれていない。	6) ウォータータンクがしっかりと差し込まれているか確認してください。
	7) 内部パーツのスケール付着。	7) 本書の関連章を参照にスケール除去してください。 P 21を参照
	8) ポンプに空気が入ってしまった。	8) 空気抜きを行ってください。 P 29を参照
水漏れ	1) カプセルのタイプが違う。	1) ご使用のカプセルが“illy lperespresso”であることを確認してください。
	2) ウォータータンクが正しく、もしくは完全に差し込まれていない。	2) ウォータータンクがしっかりと差し込まれているか確認してください。
	3) ミルクキットが正しく、もしくは完全に差し込まれていない。	3) ミルクキットが正しく組み立てられていて、差し込まれているか確認してください。
フォームドミルクが抽出できない	1) ミルクの種類が適していない。	1) 冷えた牛乳（成分無調整乳）を使用する。
	2) ミルク抽出口が汚れている、もしくは詰まっている。	2) ミルク抽出回路を洗浄する。 P 19、20を参照
	3) ミルクタンク内の残量が少ない。	3) MAXレベルまでミルクタンクに牛乳を入れる。

問 題	原 因	解決策
フォームドミルクが抽出できない	1) ミルクタンクのフタに正しくミルク吸入チューブが挿入されていない。	1) ミルクタンクのフタの穴にしっかりと差し込まれているか確認してください。
	2) ミルクキットが正しく組み立てられていない。	2) 部品がすべて正しく組み立てられているか確認してください（クリーニングとメンテナンスの章を参照）。 P 18、19、20を参照
	3) 本体に正しくミルク抽出パーツが差し込まれていない。	3) ミルク抽出パーツをしっかりと差し込む。
	4) ミルクタンクが正しく本体に接続されていない。	4) ミルクタンクをしっかりと本体に接続する。
フォームドミルクが抽出できない	ミルク抽出パーツ内の上部パイプの詰まり。	（クリーニングとメンテナンスの章を参照） ミルク抽出パーツを分解し、上部パイプを取り除きクリーニングとメンテナンス（18～20ページ）の⑧～⑩を参照にして清掃してください。 ミルク抽出パーツを再び組み立てたら⑪から⑮に従って清掃してください。
ミルクメニューの3つのアイコンが光らない	ミルク抽出パーツが入っていない、もしくは正しく挿入されていない。	ミルク抽出パーツをしっかりと差し込む。

<空気抜きが必要な場合>

初めて使用する場合、または長期間使用していなかった場合、大きな音がしてコーヒー又はお湯が抽出されないことがあります。それはマシン内部の経路に空気が入っている可能性がありますので、以下の手順を行ってください。

- 1 ウォータータンクとミルクタンクに水を入れ、電源を入れる。抽出口の下にカップを置く。
- 2 ウォームアップが完了したら、フォームドミルクボタンを押し、スチームが自動で止まるまで出し切る。
- 3 再度ウォームアップが完了したのを確認し、エスプレッソボタンを押す。
- 4 エスプレッソボタンを押した時にお湯が抽出されるまで2、3を繰り返す。

10回以上繰り返してもお湯が抽出されない場合は、キーコーヒー(株)お客様センターへご連絡ください。